

●社会福祉法人 d b Version 5.104

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

《登録・入力》

◆ 仕訳入力において以下の対応を行いました。

- 検索項目の枝番欄の（枝番 3 桁以上）の表示がマルチウインドウやワイド画面で文字が欠けていたので表示位置を“借方枝番なし”の右横から“貸方枝番なし”の下に移動しました。

枝番:	NOT	01234	~	01234	<input type="checkbox"/> 借方枝番なし
枝番:	NOT		~		<input type="checkbox"/> 貸方枝番なし
枝番:	NOT		~		(枝番3桁以上)
税額:	NOT		~		

- 検索項目の番号欄に数字が入っていると、取消仕訳 (F9) の検索ができなかったのを修正しました。
- 通常入力・出納帳入力で、平成 27 年 4 月 1 日をまたいで日付を変更した場合、税区分等が貸借科目の初期設定に戻ってしまっていたのを、元の状態を保持するようにしました。
例) 平成 27 年 1 月 1 日~平成 27 年 12 月 31 日等の 27 年 4 月をまたぐ期間のマスターで、1 月~3 月までに科目の税率・入力区分 (内税、外税、別記) を初期設定と異なる税率・入力区分に変更した仕訳を、4 月以降の日付に変更した時に税率・入力区分が科目の初期設定に変更されていました。
例) 3/31 (外 8) → 4/1 に変更 (内 8) に変わる。(4 月→3 月でも同様)

《出力》

◆ 予算実績対比表において以下の対応を行いました。

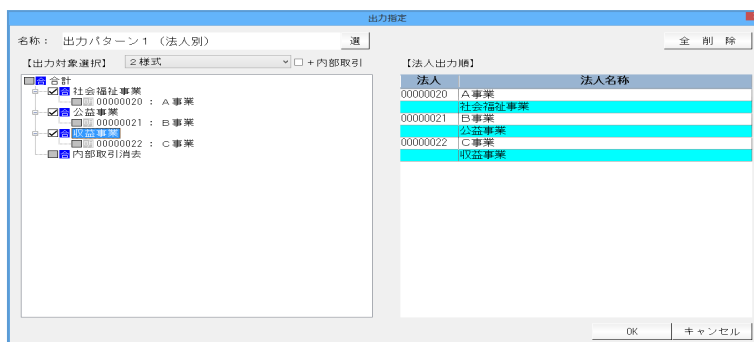
- 社会福祉法人 d b の新会計基準マスターで、「予備費支出」が出力されていなかったのを修正しました。

《決算》

◆ 内訳表において以下の対応を行いました。

- 法人別で、総合計にチェックをせずに、各事業別にチェックを付けて出力した場合に、最終の合計列の名称が“合計”固定になっていたのを修正しました。

例) 内訳表グループ登録で、社会福祉事業に A 事業、公益事業に B 事業、収益事業に C 事業と各マスターを登録し、内訳表の出力パターンで 2 様式又は 3 様式を選択して下記のようにチェックを付けて出力した場合に、列名称が、[C 事業 / 合計] となっていたのを、
C 事業 / 収益事業と出力するようにしました。



- ◆ 就労支援事業関係別紙出力において以下の対応を行いました。
 - 明細書（多機能型事業所等用）で、明細部門が1部門のみの合計部門が出力されていなかったのを修正しました。出力時、出力パターンの「詳細」で再度チェックを付け直してください。

《通信・移動》

- ◆ マスター&データ抽出において以下の対応を行いました。
 - マスター入替で、「未設定科目エラー（対応付けがされていません。）」が発生した場合に、抽出前の状態への復元処理が正しく行われずに、未送信データが復元されていなかったのを修正しました。

「未設定科目エラー（対応付けがされていません。）」が表示される条件

- * 科目名称を拡張して使用している。
- * 拡張した科目の科目名称が、事務所と顧問先とで異なる。
- * 未送信データに名称不一致の拡張科目の仕訳が存在している。
- * 転送種別：「顧問先への移動」、「会計事務所への移動」を選択している。

※顧問先と事務所とで名称を統一されている場合は、問題ありません。